

# 文化交流会館「なかしま」跡地周辺の活用に関する サウンディング型市場調査結果概要

(多久市総合政策課)

文化交流会館「なかしま」跡地周辺（以下「対象用地」という。）の利活用について、地域の実情等を踏まえ多角的な活用方針の検討を行うため、対象用地の市場性の有無や利活用の可能性を把握するため、民間事業者との対話によるサウンディング型市場調査を行いましたので、その結果を公表します。

## 1. スケジュール

内 容	日 程
実施要領の公表	令和6年7月22日(月)
現地見学会の開催	令和6年8月19日(月)～8月23日(金)
個別対話	令和6年10月22日(火) 令和6年10月31日(木) 令和6年11月1日(金)

## 2. 個別対話（サウンディング）

参加者：3者

## 3. 個別対話の内容

### (1) 事業提案の内容

- ・施設の一角に車で宿泊ができる場を設けることにより、施設の付加価値を高めたり、空きスペースの有効活用ができる。
- ・農業施設を設置し、1次産業から6次化に至る体験型農業の拠点として活用する。
- ・温度管理できる全天候型の観光拠点として活用する。
- ・他にはない唯一無二なアートとスポーツ振興を目的とした複合施設を建設し、多世代交流ができる地域コミュニティの拠点として活用する。

### (2) 地域への効果等

- ・車で宿泊された方が、街中の施設や近隣店舗を周遊することにより、地域経済が活性化される。
- ・新規農業者の増加。
- ・関係人口の増加（最終的には移住定住）。
- ・先進的な取り組みに対する観光拠点。
- ・将来的には、空きテナントを活用した人口栽培の拠点。
- ・高齢者の生きがい作り。

- ・新施設を核としたイベント・施策を施設運営と連携して、企画・展開することで街中の施設や近隣店舗の周遊を促し、地域経済が活性化。
- ・アート、スポーツを核とすることで若年層やインバウンドの集客も見込める。
- ・ファミリー層の移住定住が見込める。
- ・多久市ウォールアートプロジェクトという地域の資源を活用し、多久市中心市街地のまちづくりとして更なる展開が期待できる
- ・地域経済が活性化することによる空きテナントへの新規出店や雇用の創出が生まれる。
- ・実施するサービスによっては、地域の振興につながる施設となり、広く集客が見込める施設になる可能性がある。

#### **4. 今後の予定**

今回いただいた提案内容を参考に、対象用地の活用等に向けた検証・検討を行います。